

令和５年度大阪府立福祉情報コミュニケーションセンター指定管理者評価票

(令和５年１１月３０日時点)

評価基準（内容）		指定管理者の自己評価	評価 S～C	施設管理者の評価	評価 S～C	評価委員会の指摘・提言
1 施設の設置目的 及び管理運営方 針	（１） 施設の設置目的及び管理運営方針に 沿って運営しているか。	◆福祉情報コミュニケーションセンターの設置目的である障 がい者の意思疎通等の総合的な支援を実施する拠点とし て、各法人の高度な専門性を発揮しながら円滑に連携を図 り、効果的な運営を行っている。 ◆関係法令を遵守し、各指定管理者等と円滑に連携し、着実に 事業を推進しながら適正に管理運営を行っている。 ◆指定管理者、再委託先等（以下「指定管理者等」という。） と円滑な連携を図ることで、それぞれの指定管理者等が実 施する支援機能の相乗効果を発揮し、意思疎通を図ること に困難がある障がい者等の自立と社会参加をより一層促進 し、自立生活の向上・福祉の増進を図っている。 ◆施設が、障がい者の様々な課題を解決する支えの場となる よう切れ目のない支援体制を確保・充実するとともに、障が い者の自立と社会参加を促進する拠点、並びに府民とのふ れあい、交流を図る活動の場として活用・提供し、府の施策 及び事業の効果的かつ効率的な推進に努めている。 <				

評価基準（内容）		指定管理者の自己評価	評価 S～C	施設管理者の評価	評価 S～C	評価委員会の指摘・提言																																								
		<p>特定非営利活動法人手話言語獲得習得支援研究機構（こめっこ）</p> <p>⑤聴覚障がいのある子どもと保護者の相談支援ネットワーク---特定非営利活動法人手話言語獲得習得支援研究機構</p> <p>社会福祉法人大阪府肢体不自由者協会</p> <p>社会福祉法人愛徳福社会</p> <p>⑥登録通訳者の現任研修、養成講座講師研修、若者を対象にした手話等の習得等---</p> <p>大学共同利用機関法人人間文化研究機構</p> <p>国立民族学博物館</p> <p>(2) 障がい者の文化芸術・スポーツ活動促進</p> <p>・一般財団法人大阪府身体障害者福祉協会と連携し、障がい者の文化芸術・スポーツ等についての取り組みや交流事業のほか、これらの情報保障に係る情報収集・分析・発信等に努めている。</p> <p>◆公の施設として、地域に開かれた施設運営をおこなうため、地元町会や地域活動協議会の活動に参画するとともに、事業の広報・P Rに努めている。</p> <p>【主な事業について】(11 月末時点、12 月以降はすべて予定)</p> <p>【盲ろう者等社会参加支援センター】</p> <div>センターの運営・管理に関する業務</div> <p>① 会議室利用状況（4階会議室1（A，B）、2）</p> <p>(件)</p> <table><tr><td></td><td>指定管理業務</td><td>指定管理業務外</td><td>計</td></tr><tr><td>4</td><td>21【30】</td><td>23【28】</td><td>44【58】</td></tr><tr><td>5</td><td>29【49】</td><td>52【36】</td><td>81【85】</td></tr><tr><td>6</td><td>78【81】</td><td>40【44】</td><td>118【125】</td></tr><tr><td>7</td><td>79【69】</td><td>35【65】</td><td>114【134】</td></tr><tr><td>8</td><td>73【58】</td><td>30【58】</td><td>103【116】</td></tr><tr><td>9</td><td>121【110】</td><td>27【26】</td><td>148【136】</td></tr><tr><td>10</td><td>106【103】</td><td>43【34】</td><td>149【137】</td></tr><tr><td>11</td><td>99【83】</td><td>45【27】</td><td>144【110】</td></tr><tr><td>計</td><td>606【583】</td><td>295【318】</td><td>901【901】</td></tr></table> <p>【 】昨年度の実績</p>		指定管理業務	指定管理業務外	計	4	21【30】	23【28】	44【58】	5	29【49】	52【36】	81【85】	6	78【81】	40【44】	118【125】	7	79【69】	35【65】	114【134】	8	73【58】	30【58】	103【116】	9	121【110】	27【26】	148【136】	10	106【103】	43【34】	149【137】	11	99【83】	45【27】	144【110】	計	606【583】	295【318】	901【901】		<p>・地域との融和に努め、良好な関係を構築していることを確認。</p> <p>・会議室利用について、稼働率は昨年度とほぼ同水準となっており、指定管理業務以外の一般利用（有料）の促進にも努めていることが確認できる。</p>		
	指定管理業務	指定管理業務外	計																																											
4	21【30】	23【28】	44【58】																																											
5	29【49】	52【36】	81【85】																																											
6	78【81】	40【44】	118【125】																																											
7	79【69】	35【65】	114【134】																																											
8	73【58】	30【58】	103【116】																																											
9	121【110】	27【26】	148【136】																																											
10	106【103】	43【34】	149【137】																																											
11	99【83】	45【27】	144【110】																																											
計	606【583】	295【318】	901【901】																																											

評価基準（内容）		指定管理者の自己評価	評価 S～C	施設管理者の評価	評価 S～C	評価委員会の指摘・提言
		<div>盲ろう者等社会参加支援センター機能</div> <div>1 盲ろう者等の社会参加支援</div> <div>○センターの企画調整等</div> <div>・センターの運営に関して総合的な企画調整や障がい者団体間の調整、助言を行っている。</div> <div>・大阪府障がい者社会参加推進協議会の開催 令和6年3月頃開催</div> <div>○障がいの者の総合相談支援</div> <div>・専任の相談員により、内容に応じて下記の連携団体、関係機関等につなげるにより切れ目のない支援を行っている。</div> <div>・身体障がいに関すること</div> <div>・・・・一般財団法人大阪府身体障害者福祉協会</div> <div>・知的障がいに関すること</div> <div>・・・・社会福祉法人大阪手をつなぐ育成会</div> <div>・精神障がいに関すること</div> <div>・・・・大阪精神障害者連絡会</div> <div>・バリアフリーに関すること</div> <div>・・・・障害者の自立と完全参加をめざす大阪連絡会議</div> <div>・大阪府障がい者110番事業 相談件数 338件（11月末実績）</div> <div>○障がいの者の文化芸術・スポーツ活動促進等</div> <div>・第20回共に生きる障がい者展の開催 11月18日（土）、19日（日） ビッグ・アイで開催 心のバリアフリーフォーラム（動画配信） 支援学校等ダンスパフォーマンス大会・大阪 障がい者文化芸術コンテスト2023（動画配信）</div> <div>・レクリエーション事業</div> <div>1回目 7月10日 吹田ニフレルと京都鉄道博物館</div> <div>2回目 12月4日 野島断層と姫路セントラルパーク</div> <div>3回目 3月下旬を予定</div> <div>・一般財団法人大阪府身体障害者福祉協会への再委託事業</div> <div>・野外活動訓練事業（北摂地区）</div> <div>①令和5年9月22日（金） 淡路島 北淡震災記念公園/22名参加</div> <div>②令和5年11月1日（水） 神戸どうぶつ園/127名参加</div>		<div>・新型コロナウイルスの5類移行に伴い、これまで開催を見合わせていた事業についても順次再開し、概ね計画どおり実施できている。</div> <div>・新型コロナウイルスの5類移行に伴い、これまで開催を見合わせていた事業についても順次再開し、概ね計画どおり実施できている。</div>		

評価基準（内容）		指定管理者の自己評価	評価 S～C	施設管理者の評価	評価 S～C	評価委員会の指摘・提言
		<div>・ 野外活動訓練事業（京阪地区） 令和 5 年 10 月 21 日（土） 東大阪ラグビー場／92 名参加</div> <div>・ 野外活動訓練事業（河南地区） 令和 5 年 9 月 13 日（水） 奈良県吉野博水園梨狩り/156 名参加</div> <div>・ 野外活動訓練事業（阪南地区） 令和 5 年 11 月 13 日（月） 岸和田みかん農園みかん狩り/43 名参加</div> <div>・ スポーツレクリエーション大会（北摂地区） 令和 5 年 10 月 15 日（日） 池田市五月山体育館/150 名参加</div> <div>・ スポーツレクリエーション大会（京阪地区） 令和 5 年 9 月 23 日（土） 四條畷市立市民総合体育館/280 名参加</div> <div>・ スポーツレクリエーション大会（河南地区） 令和 5 年 10 月 14 日（土） 富田林市立総合体育館/102 名参加</div> <div>・ グラウンドゴルフ大会 令和 5 年 1 0 月 2 9 日（日） ファインプラザ大阪／48 名参加</div> <div>・ 川柳コンテスト 応募期間 9 月～10 月中頃 応募作品数 77 作品 審査会 10 月 31 日（火） 表彰式 11 月 23 日 ビッグ・アイ</div> <div>・ 日帰りドライブ会 令和 5 年 1 1 月 1 3 日（月） 泉州方面／6 名参加</div> <div>・ 身体障害者民謡・歌謡曲大会 （予選会） 令和 5 年 8 月 5 日（土） ファインプラザ大阪/49 名参加 （本選） 令和 5 年 11 月 23 日（祝） 国際障害者交流センタービッグ・アイ/20 名参加</div> <div>○盲ろう者等社会参加支援センター</div>				

評価基準（内容）		指定管理者の自己評価	評価 S～C	施設管理者の評価	評価 S～C	評価委員会の指摘・提言
		<p>府内に居住する盲ろう者を対象に以下の事業を実施している。実施に当たっては、NPO法人盲ろう者友の会とNPO法人へレンケラー自立支援センターすまいると連携体制を構築している。</p> <p>・バスツアー</p> <p>7月8日（土）滋賀県琵琶湖を巡る旅 57人 10月14日（土）和歌山県有田方面を巡る旅 57人</p> <p>・盲ろう者と通訳・介助者との交流会 3月15日</p> <p>・パソコン等電子機器活用訓練（盲ろう者対象） 開催回数：78回 参加者数：延べ78人（11月末実績） 盲ろう者支援センター実施 延べ105人 盲ろう者宅実施 延べ15人</p> <p>・日常生活訓練または体験会 令和5年6月29日（木）～30日（金） 三重鳥羽方面手づくり体験 35人 令和5年10月19日（木）～11月6日 盲ろう者のためのソフト「らくらくツール」講習会 全9回 令和5年11月10日（金） タンデム体験（雨天順延）</p> <p>・盲ろう者向けパソコン指導者サポーター養成研修 3月実施予定</p> <p>・盲ろう者向けパソコン指導者サポーター現任研修 3月実施予定</p> <p>・失語症者向け専門人材育成 リーダー養成コース 2期生：4月15日（土）～7月30日（日） 3期生：9月9日（土）～12月3日（日） パートナー養成コース 9月9日（土）～12月28日（木）</p> <p>2 盲ろう者通訳・介助者確保事業</p> <p>・養成研修事業 研修期間 9月15日（金）～3月12日（火） （19日間・98時間） 申込み者 26人</p> <p>・現任研修事業 研修期間 9月1日（金）、9月13日（水） 受講対象者数 36人 受講者 27人</p>		<p>・計画どおり実施している。</p> <p>・計画どおり実施している。</p> <p>・計画どおり実施している。</p>		

評価基準（内容）		指定管理者の自己評価	評価 S～C	施設管理者の評価	評価 S～C	評価委員会の指摘・提言
		<p>修了者数 未定</p> <p>3 盲ろう者通訳・介助者派遣事業（11 月末時点）</p> <ul style="list-style-type: none">・盲ろう者登録状況 111 人・通訳・介助者登録状況 282 人・通訳・介助者利用及び派遣状況利用盲ろう者数 延べ 578 人通訳・介助者派遣人数 延べ 1,265 人通訳・介助者派遣時間 25,627 時間通訳・介助者派遣件数 7,427 件・企業等への盲ろう者通訳・介助者の派遣（自主事業）1 件 <p>4 要約筆記者確保</p> <ul style="list-style-type: none">・要約筆記者養成研修研修期間 6 月 10 日（土）～12 月 2 日（土） （21 日間・84 時間）修了者数（見込） 23 人（手書きコース・12 名 パソコンコース・11 名）・要約筆記者登録試験令和 6 年 2 月 18 日（日）実施 予定・要約筆記者現任研修・実践研修実践研修研修日時 4 月 15 日（土）手書き 5 名 パソコン 13 名6 月 3 日（土） パソコン 4 名現任研修会研修日時 4 月 22 日（土）手書き 8 名、パソコン 11 名6 月 3 日（土）手書き 23 名パソコン 現地 18 名・オンライン 8 名8 月 12 日（土）手書き 24 名、パソコン 26 名10 月 21 日（土）手書き 13 名、パソコン 16 名 <p>・要約筆記者養成研修指導者養成</p>		<ul style="list-style-type: none">・新型コロナウイルスの 5 類移行に伴い、派遣件数は増加傾向にあることが確認できる。・計画どおり実施している。		

評価基準（内容）		指定管理者の自己評価	評価 S～C	施設管理者の評価	評価 S～C	評価委員会の指摘・提言						
		<p>聴覚障害者情報文化センター主催「令和5年度要約筆記者指導者研修」</p> <p>ステップアップコース（パソコン）</p> <p>・Zoomによるオンライン研修 1名</p> <p>5 要約筆記者派遣事業</p> <p>公費派遣 114人 292.3時間</p> <p>公費外 80人 289.6時間</p> <p>養成(講座情報保障) 122人 310.9時間</p> <p>6 こめっこプロジェクト</p> <p>○聴覚障がい児手話言語獲得支援者の養成・派遣等</p> <p>養成者数 41人（見込み）</p> <p>○聴覚に障がいのある子どもの相談支援等</p> <p>・「ひだまり・MOE」</p> <p>のべ相談件数 57件</p> <p>・乳幼児の言語獲得支援</p> <p>手話サポート 235件</p> <p>相談件数 61件</p> <p>・社会福祉法人愛徳福祉会ゆうなぎ園</p> <p>相談件数 56件</p> <p>・社会福祉法人大阪府肢体不自由児者協会ぴょんぴょん教室</p> <p>相談件数 31件</p> <div>I Tを活用した就労支援機能（「I Tステーション」機能）</div> <p>内容については、3（3）参照。</p> <p>【視覚障がい者支援センター】</p> <p>① 点字図書館の管理運営</p> <p>・蔵書数の増加</p> <table><tr><td>点字図書</td><td>144タイトル</td></tr><tr><td>テープ図書</td><td>0タイトル</td></tr><tr><td>デイジー図書</td><td>59タイトル</td></tr></table> 他	点字図書	144タイトル	テープ図書	0タイトル	デイジー図書	59タイトル		<p>・昨年度とほぼ同水準で派遣事業を実施していることが確認できる。</p> <p>・計画どおり実施している。</p> <p>・個々の事業の実績は概ね上昇傾向にあることが確認できる。</p> <p>・各種サービスについて、前年度並みの利用件数が確認でき、適切に点字図書館事業を実施しているといえる。</p>		
点字図書	144タイトル											
テープ図書	0タイトル											
デイジー図書	59タイトル											

評価基準（内容）		指定管理者の自己評価	評価 S～C	施設管理者の評価	評価 S～C	評価委員会の指摘・提言																								
		<div>・ 図書の貸出</div> <table><tr><td>点字図書</td><td>505 タイトル</td></tr><tr><td>F D 図書</td><td>0 タイトル</td></tr><tr><td>テープ図書</td><td>118 タイトル</td></tr><tr><td>デイジー図書</td><td>3, 400 タイトル</td></tr></table> <div>他</div> <div>・ 雑誌の貸出</div> <table><tr><td>点字雑誌</td><td>426 タイトル</td></tr><tr><td>F D 雑誌</td><td>24 タイトル</td></tr><tr><td>テープ雑誌</td><td>812 タイトル</td></tr><tr><td>デイジー雑誌</td><td>3, 401 タイトル</td></tr></table> <div>・ プライベートサービス 27 件</div> <div>・ レファレンスサービス 90 件</div> <div>・ 見学者 86 名</div> <div>・ 図書館だより発行 4 回</div> <div>（墨字・点字・テープ・デイジー・メール）</div> <div>・ ボランティア通信発行 4 回</div> <div>② ・各種ボランティア勉強会等 60 回</div> <div>③ 視覚障がい者家庭訪問指導事業</div> <div>・ 電話相談 105 件</div> <div>・ 面接相談 21 件</div> <div>・ 訪問指導 延べ計 247 回</div> <div>（内訳）</div> <table><tr><td>点字指導</td><td>延べ 11 回</td></tr><tr><td>歩行訓練</td><td>延べ 183 回</td></tr><tr><td>P C 訓練</td><td>延べ 40 回</td></tr><tr><td>生活訓練</td><td>延べ 13 回</td></tr></table> <div>・ 点字教室等</div> <div>訪問指導のほか、中途失明者にとって習得が困難な点字学習を継続するため、福祉情報コミュニケーションセンターや地域で、点字教室や個別指導で 69 件延べ 234 名の継続指導を実施した。</div> <div>④ 視覚障がい者総合支援事業</div> <div>ア 点字広報等発行・点字情報ネットワーク事業</div> <div>・ 点字広報発行 2 回</div> <div>つみぐさ 135 号（令和 5 年 6 月号）276 部</div> <div>つみぐさ 136 号（令和 5 年 9 月号）275 部</div> <div>・ 点字情報ネットワーク事業</div>	点字図書	505 タイトル	F D 図書	0 タイトル	テープ図書	118 タイトル	デイジー図書	3, 400 タイトル	点字雑誌	426 タイトル	F D 雑誌	24 タイトル	テープ雑誌	812 タイトル	デイジー雑誌	3, 401 タイトル	点字指導	延べ 11 回	歩行訓練	延べ 183 回	P C 訓練	延べ 40 回	生活訓練	延べ 13 回		<div>・ 計画どおり実施している。</div> <div>・ 新型コロナウイルスの 5 類移行に伴い、これまで開催を見合わせていた事業についても順次再開し、概ね計画どおり実施できている。</div>		
点字図書	505 タイトル																													
F D 図書	0 タイトル																													
テープ図書	118 タイトル																													
デイジー図書	3, 400 タイトル																													
点字雑誌	426 タイトル																													
F D 雑誌	24 タイトル																													
テープ雑誌	812 タイトル																													
デイジー雑誌	3, 401 タイトル																													
点字指導	延べ 11 回																													
歩行訓練	延べ 183 回																													
P C 訓練	延べ 40 回																													
生活訓練	延べ 13 回																													

評価基準（内容）		指定管理者の自己評価	評価 S～C	施設管理者の評価	評価 S～C	評価委員会の指摘・提言
		<p>提供回数 164 回 延べ 5, 576 部</p> <p>イ 視覚障がい者スポーツ・芸術文化活動等支援事業</p> <p>＜スポーツ行事＞</p> <ul style="list-style-type: none">・フライングディスク大会 48 名 4 月 21 日（金） 久宝寺緑地陸上競技場・グラウンド・ゴルフ大会 5 月 19 日（金） 久宝寺緑地陸上競技場 雨天のため中止 エントリー者 67 名・ウォークラリー 83 名 6 月 4 日（日） 大浜公園周辺・サウンドテーブルテニス大会 41 名 8 月 4 日（金） 大阪府立体育会館・ペタビンゴ大会 52 名 8 月 25 日（金）大阪府立体育会館・スポーツ・レクリエーション大会 49 名 10 月 6 日（金） 久宝寺緑地陸上競技場・ヨガ教室 8 回 延べ 58 名 <p>＜文化行事＞</p> <ul style="list-style-type: none">・点字競技会 8 月 18 日（金）府立福祉情報コミュニケーションセンター 21 名・文化の集い 11 月 10 日（金）府立福祉情報コミュニケーションセンター 舞台表現の部 6 組 文芸作品の部（短歌・俳句・川柳・詩）19 名 作品展示の部（お花） 2 名 文芸作品集作成・将棋大会 11 月 10 日（金）府立福祉情報コミュニケーションセンター エントリー少数のため中止・カラオケ大会 12 月 15 日（金）（予定）応募者 35 名（11/30 現在）・パソコン講習会 9 月 5 日（火）パソコン講習（「サピエ」利用体験） 2 回 2 名 10 月 27 日（金）パソコン講習（ネットスーパー体 験）2 回 2 名				

評価基準（内容）		指定管理者の自己評価	評価 S～C	施設管理者の評価	評価 S～C	評価委員会の指摘・提言																		
		<div>・各種教室</div> <table><tr><td>囲碁教室</td><td>7 回</td><td>延べ 74 名</td></tr><tr><td>編み物教室</td><td colspan="2">やむを得ない事情により中止</td></tr><tr><td>ミシン教室</td><td colspan="2">やむを得ない事情により中止</td></tr><tr><td>お花教室</td><td>7 回</td><td>延べ 22 名</td></tr><tr><td>料理教室</td><td>5 回</td><td>延べ 7 名</td></tr><tr><td>着付け教室</td><td>1 回</td><td>4 名</td></tr></table> <div>・その他</div> <div>大阪府庁の新入職員研修での点字指導を 3 日間、通訳・介助者養成研修の講師を行った。</div> <div>大阪府立北視覚支援学校の職場体験の受け入れを行った。</div> <div>「大阪あいねっと」の会議へ 2 回参加し、関連機関との連携をはかっている。</div> <div>ウ 視覚障がい幼児療育指導事業</div> <div>・通所事業 92 回 延べ 76 名</div> <div>・相談事業 9 件</div> <div>エ 点訳奉仕員（ボランティア）中級養成・朗読奉仕員（ボランティア）中級養成等</div> <div>・点訳奉仕員中級養成事業</div> <div> 24 回 受講者数 10 名</div> <div>・朗読奉仕員養成事業</div> <div> 19 回 受講者数 15 名</div> <div>【聴覚障がい者支援センター】</div> <div>I. 聴覚障がい者情報提供施設事業</div> <div>・手話通訳活動促進派遣件数 302 件</div> <div>・ライブラリー貸出件数 DVD121 本</div> <div>・みんなで観る会</div> <div>会場：福祉情報コミュニケーションセンター</div> <div>令和 5 年 5 月 27 日（土）「半落ち」</div> <div>参加者 13 名</div> <div>令和 5 年 8 月 19 日（土）「遙かなる甲子園」</div> <div>参加者 38 名</div>	囲碁教室	7 回	延べ 74 名	編み物教室	やむを得ない事情により中止		ミシン教室	やむを得ない事情により中止		お花教室	7 回	延べ 22 名	料理教室	5 回	延べ 7 名	着付け教室	1 回	4 名			<div>・新型コロナウイルスの 5 類移行に伴い、各種事業の実績は概ね増加傾向にあることが確認できる。</div>	
囲碁教室	7 回	延べ 74 名																						
編み物教室	やむを得ない事情により中止																							
ミシン教室	やむを得ない事情により中止																							
お花教室	7 回	延べ 22 名																						
料理教室	5 回	延べ 7 名																						
着付け教室	1 回	4 名																						

評価基準（内容）		指定管理者の自己評価	評価 S～C	施設管理者の評価	評価 S～C	評価委員会の指摘・提言
		<p>令和5年9月2日（土）「ホテル」 参加者 17 名</p> <p>令和5年11月4日（土）「長州ファイブ」 参加者 9 名</p> <p>令和6年2月24日（土）「聲の形」（予定）</p> <p>・情報化対応・製作事業 ホームページ閲覧件数：延べ 178, 882 件 W e b 動画視聴件数：延べ 1, 927 件</p> <p>・手話通訳者支援事業 手話通訳技能（手話通訳士）試験の合格の支援 学科試験対策 受講者数 6 名 令和5年6月10日（土）、24日（土） 学科模擬試験：令和5年7月1日（土）受講者数 8 名 実技試験対策 昼の部：令和5年6月28日（水）～8月30日（水） 受講者数 9 名 夜の部：令和5年6月28日（水）～8月30日（水） 受講者数 11 名 会場：福祉情報コミュニケーションセンター 大阪市立城東区民センター、大阪市立西区民センター 手話奉仕員養成担当講師連続講座（説明会実施予定）</p> <p>・手話の普及促進等 手話サークルのネットワーク化のための情報収集事業 定期会議 12 回開催予定</p> <p>第5回大阪手話関係者の健康フォーラム 日時：令和5年7月22日（土） 会場：住之江会館 テーマ：「手話通訳の制度も勉強して、疲れない体づくりも学びましょう。」 講師：前全国手話通訳けいわん患者・健康を守る会会長、 大阪手話通訳問題研究会 健康班 内野 和弘 ピラティスインストラクター、大阪手話通訳問題研究会 健康班 杉浦 智子</p> <p>第20回大阪手話フォーラム</p>				

評価基準（内容）		指定管理者の自己評価	評価 S～C	施設管理者の評価	評価 S～C	評価委員会の指摘・提言
		<p>日時：令和 5 年 10 月 29 日（日） 会場：大阪市立都島区民センター テーマ：「デフリンピックを応援しよう～デフスポーツ・サポーター制度について～」 講師：公益社団法人 大阪聴力障害者協会 理事 千葉 文恵 参加者 60 名</p> <p>近畿ろうあ者福祉・労働フォーラム 日時：令和 5 年 11 月 11 日（土） 会場：福祉情報コミュニケーションセンター テーマ：「ろう者の立場から考える医療の情報保障」 講師：明和大学病院 薬剤師 早瀬久美 参加者：30 名</p> <p>大阪聴覚障害防災ネットワーク委員会事務局会議 開催回数 2 回予定</p> <p>大阪聴覚障害防災ネットワーク委員会全体会 日時：令和 5 年 11 月 20 日（月） 会場：福祉情報コミュニケーションセンター テーマ：「防災マニュアル作成について」 参加者：9 名</p> <p>Ⅱ. 聴覚障がい者相談支援事業 ・ろうあ者生活指導事業派遣件数 308 件</p> <p>Ⅲ. 手話通訳者確保事業 【手話通訳者の養成研修に関する業務】 (1)養成期日・場所・時間 ●地域手話通訳者クラス（各 33 回） ・福祉情報コミュニケーションセンター （昼コース×2） 令和 5 年 5 月 18 日（木）～令和 6 年 2 月 29 日（木）（予定）18 時 30 分～20 時 30 分 参加者各 11 名 ・大阪狭山市役所別館 令和 5 年 5 月 15 日（月）～令和 6 年 2 月 26 日（月）（予定）14 時～16 時 参加者 10 名</p>		<p>・生活指導事業派遣については、概ね前年度並みの派遣件数となっており、適切に実施されていることが確認できる。</p> <p>・計画どおり行われていることが確認できる。</p>		

評価基準（内容）		指定管理者の自己評価	評価 S～C	施設管理者の評価	評価 S～C	評価委員会の指摘・提言
		<div>・箕面市立障害者福祉センターささゆり園 令和5年5月16日（火）～令和6年2月27日（火）（予定）14時～16時 参加者10名</div> <div>●手話通訳者応用コース（各34回）</div> <div>・福祉情報コミュニケーションセンター （昼コース×2） 令和5年5月16日（火）～令和6年2月27日（火）（予定）14時～16時 参加者各8名、7名</div> <div>・福祉情報コミュニケーションセンター （夜コース×2） 令和5年5月18日（木）～令和6年2月29日（木）（予定）18時30分～20時30分 参加者各9名</div> <div>・貝塚市役所身体障害者福祉センター 令和5年5月15日（月）～令和6年2月26日（月）（予定）14時～16時 参加者10名</div> <div>・枚方市立総合福祉会館ラポールひらかた 令和5年5月18日（木）～令和6年2月29日（木）（予定）10時～12時 参加者9名</div> <div>●実践クラス（各33回）</div> <div>・福祉情報コミュニケーションセンター （昼コース×2） 令和5年5月19日（金）～令和6年3月1日（金）（予定）14時～16時 参加者各9名</div> <div>・福祉情報コミュニケーションセンター （夜コース×2） 令和5年5月18日（木）～令和6年2月29日（木）（予定）18時30分～20時30分 参加者8名、7名</div> <div>・茨木市立障害福祉センターハートフル 令和5年5月16日（火）～令和6年2月27日（火）（予定）10時～12時 参加者10名</div> <div>・八尾市立障害者総合福祉センター「きずな」 令和5年5月19日（金）～令和6年3月1日（金）（予定）10時～12時 参加者6名</div> <div>(2)受講判定試験実施期日・実施会場・判定試験結果 実施日：令和5年4月22日（土）9時30分～17時</div>				

評価基準（内容）		指定管理者の自己評価	評価 S～C	施設管理者の評価	評価 S～C	評価委員会の指摘・提言
		<p>会場：福祉情報コミュニケーションセンター</p> <p>ア. 森ノ宮 昼の部</p> <p>申込者数 51 名、受験者 47 名、合格者 20 名</p> <p>イ. 森ノ宮 夜の部</p> <p>申込者数 64 名、受験者 61 名、合格者 20 名</p> <p>ウ. 大阪狭山会場</p> <p>申込者数 18 名、受験者 15 名、合格者 10 名</p> <p>エ. 箕面会場</p> <p>申込者数 10 名、受験者 10 名、合格者 5 名</p> <p>合計 申込者数 143 名、受験者 133 名、合格者 55 名</p> <p>(3) 修了試験実施期日・実施会場・判定試験結果</p> <p>実施日：令和 6 年 3 月 9 日（土）9 時 30 分～17 時予定</p> <p>会場：福祉情報コミュニケーションセンター</p> <p>対象者：地域クラス 62 名</p> <p>応用クラス 52 名</p> <p>実践クラス 43 名</p> <p>【O J Tに関する業務】</p> <p>新人O J T</p> <p>○ 令和 5 年 6 月 8 日（木）19 時～21 時</p> <p>対象者 新規登録者</p> <p>テーマ「新規登録者研修～報告書の見方、書き方～」</p> <p>講師：井澤 昭夫</p> <p>中間層O J T</p> <p>① 令和 5 年 9 月 10 日（日）14 時～16 時</p> <p>対象者 1 名</p> <p>テーマ「人生 100 歳時代の生き方～認知症を予防していきいき～」</p> <p>講師：NP0 法人認知症予防サポートネット代表 福田章氏</p> <p>② 令和 5 年 9 月 26 日（火）18 時 30 分～20 時 30 分</p> <p>対象者 1 名</p> <p>テーマ：お金のはなし「給与明細から可処分所得を計算しよう」</p> <p>講師：やすもとファイナンシャルプランニング事務所</p> <p>安本 貴子氏</p> <p>③ 令和 5 年 10 月 10 日（火）18 時 30 分～20 時 30 分</p>		<p>・計画どおり行われていることが確認できる。</p>		

評価基準（内容）		指定管理者の自己評価	評価 S～C	施設管理者の評価	評価 S～C	評価委員会の指摘・提言
		<p>対象者 1 名</p> <p>テーマ：お金のはなし「『源泉徴収票』から知る私たちの税金」</p> <p>講師：やすもとファイナンシャルプランニング事務所 安本 貴子氏</p> <p>④ 令和 5 年 10 月 24 日（火）18 時 30 分～20 時 30 分</p> <p>対象者 1 名</p> <p>テーマ:お金のはなし「いざというときの備え「社会保険」について知ろう」</p> <p>講師：社労士 FP 事務所チャレンジド・ガーディアン 久保田 あきみ氏</p> <p>⑤ 令和 5 年 10 月 28 日（土）13 時 30 分～15 時 30 分</p> <p>対象者 2 名</p> <p>テーマ「電話リレーサービス」</p> <p>講師：公益社団法人 大阪聴力障害者協会常任理事 長宗 政男</p> <p>⑥ 令和 5 年 11 月 3 日（金）10 時～11 時 30 分</p> <p>対象者 1 名</p> <p>テーマ 社会見学 津波・高潮ステーション</p> <p>⑦ 令和 5 年 11 月 11 日（土）13 時 30 分～15 時 30 分</p> <p>対象者 1 名</p> <p>テーマ：「人生 100 歳時代の生き方～認知症を予防していきいき～」</p> <p>講師:NPO 法人認知症予防サポートネット代表 福田章氏</p> <p>⑧ 令和 5 年 11 月 14 日（火）18 時 30 分～20 時 30 分</p> <p>対象者 1 名</p> <p>テーマ:お金のはなし「老後の年金は公的年金だけで大丈夫？今からできることを考えよう」</p> <p>講師：やすもとファイナンシャルプランニング事務所 安本 貴子氏</p> <p>⑨ 令和 5 年 11 月 28 日（火）18 時 30 分～20 時 30 分</p> <p>対象者 1 名</p> <p>テーマ：お金のはなし「自分のリスク、必要な保険、不要な保険を押さえておこう」</p> <p>講師：やすもとファイナンシャルプランニング事務所 安本 貴子氏</p> <p>⑩ 令和 5 年 12 月 2 日（土）14 時～16 時</p> <p>対象者 3 名</p>				

評価基準（内容）		指定管理者の自己評価	評価 S～C	施設管理者の評価	評価 S～C	評価委員会の指摘・提言
		<p>テーマ「デフスポーツについて」</p> <p>講師：公益社団法人 大阪聴力障害者協会 理事 千葉 文恵</p> <p>⑪ 令和5年12月12日（火）18時30分～20時30分 対象者1名</p> <p>テーマ：お金のはなし「クレジットカード・ローン活用の 基本を押さえよう」</p> <p>講師：やすもとファイナンシャルプランニング事務所 安本 貴子氏</p> <p>⑫ 令和5年12月23日（土）13時30分～15時30分 対象者3名</p> <p>テーマ「電話リレーサービス」</p> <p>講師：公益社団法人 大阪聴力障害者協会常任理事 長宗 政男</p> <p>⑬ 令和6年1月7日（日）13時30分～16時35分（予定） 対象者1名</p> <p>テーマ「大阪ろうあ者成人式」</p> <p>⑭ 令和6年1月16日（火）18時30分～20時30分（予定） 対象者1名</p> <p>テーマ：お金のはなし「人生100年時代 自由な発想で ライフプランを描いてみよう」</p> <p>講師：やすもとファイナンシャルプランニング事務所 安本 貴子氏</p> <p>⑮ 令和6年2月24日（土）10時～12時（予定） 対象者1名</p> <p>テーマ：ろうあ者日曜教室「デフリンピックについて」</p> <p>講師：公益社団法人 兵庫県聴覚障害者協会 スポーツ部長 古 隆喜 尼崎ろうあ協会 理事 古 香</p> <p>【手話通訳者の登録試験及び更新試験に関する業務】</p> <p>期日：1次試験 令和5年9月30日(土)・10月1日(日) 場所：福祉情報コミュニケーションセンター 受験者数：申込者数 271 名 (新規 190 名、3 年目 81 名)</p> <p>2次試験 令和5年12月9日(土)・10日(日) 場所：福祉情報コミュニケーションセンター 受験者数：申込者数 174 名</p>				

評価基準（内容）		指定管理者の自己評価	評価 S～C	施設管理者の評価	評価 S～C	評価委員会の指摘・提言
		<p>（1次試験合格者 93 名、3 年目 81 名）</p> <p>【手話通訳者養成研修の指導者養成に関する業務】</p> <p>会場：福祉情報コミュニケーションセンター</p> <p>① 大阪府手話通訳者研修（常時派遣者 29 名）</p> <p>令和 5 年 8 月 22 日（火）～9 月 29 日（金）</p> <p>3 回× 5 グループ（全 15 回）</p> <p>② 大阪府手話通訳者研修（常時派遣者以外 49 名）</p> <p>令和 5 年 9 月 1 日（金）～10 月 25 日（水）</p> <p>3 回× 5 グループ（全 15 回）</p> <p>③ 大阪府登録手話通訳者研修</p> <p>第 1 回 令和 5 年 5 月 2 日（火）～5 月 8 日（月）</p> <p>オンライン</p> <p>「2022 年度手話通訳派遣実績と通訳派遣の流れについて」大阪ろうあ会館福祉事業課 西川 三枝子</p> <p>「登録試験特別解説講座」西田 功、中塚 邦雄</p> <p>第 2 回 令和 5 年 11 月 15 日（水）18 時 30 分～</p> <p>20 時 30 分 対面式</p> <p>「性の多様性と L G B T Q 理解増進法」</p> <p>講師：Deaf L G B T Q Center 代表 山本芙由美氏</p> <p>第 3 回 令和 6 年 2 月、3 月（予定）</p> <p>テーマ「事例検討」</p> <p>講師：高木真知子氏</p> <p>④講師現任研修（全 4 回）（予定）</p> <p>2 回× 2 グループ</p> <p>⑤次世代手話通訳者養成研修</p> <p>日程 昼の部 令和 6 年 1 月 18 日（木）～2 月 22 日（木）</p> <p>14:00～16:00（予定）</p> <p>夜の部 令和 6 年 1 月 17 日（水）～2 月 21 日（水）</p> <p>18:30～20:30（予定）</p> <p>会場 福祉情報コミュニケーションセンター</p> <p>各コース 6 回 10 名</p> <p>IV. 手話通訳者派遣事業</p> <p>派遣実数 58 件、キャンセル 2 件</p> <p>V. 社会参加・日常生活支援事業</p> <p>・文化芸術講座</p>				<p>・概ね前年度並みの派遣件数となっており、適切に実施されていることが確認できる。</p> <p>・計画どおり行われていることが確認できる。</p>

評価基準（内容）		指定管理者の自己評価	評価 S～C	施設管理者の評価	評価 S～C	評価委員会の指摘・提言
		<p>令和 5 年 7 月 22 日（土）～10 月 14 日（土） 参加者数：15 名 会場：阿倍野市民学習センター ※11 月 18 日（土）～19 日（日）共に生きる障がい者展にて作品展示</p> <p>・国際手話教室 会場：福祉情報コミュニケーションセンター 入門コース 令和 5 年 5 月 23 日（火）～8 月 1 日（火） 申込者数 3 名、修了者数 10 名 中級（会話）コース 令和 5 年 8 月 22 日（火）～10 月 24 日（火） 申込者数 16 名、修了者数 13 名 中級（通訳）コース 令和 5 年 11 月 21 日（火）～12 月 19 日（火） 申込者数 14 名 特別講義 令和 6 年 1 月 30 日（火）（予定） テーマ「第 19 回世界ろう者会議と WF D アジア地域会議に参加して」 講師：一般財団法人全日本ろうあ連盟理事 中西久美子</p> <p>・難聴者のための手話教室 会場：福祉情報コミュニケーションセンター 令和 5 年 5 月 13 日（土）～令和 6 年 1 月 20 日（土）（予定） 申込者数：入門コース 19 名、中級コース 31 名</p> <p>・社会人向け手話講座 聴覚支援学校向け 令和 5 年 4 月 28 日（金）～令和 6 年 3 月 19 日（火）（予定） 受講人数延べ 303 名 難聴学級向け 会場：福祉情報コミュニケーションセンター（オンライン） 令和 5 年 8 月 3 日（木）参加者 15 名 令和 5 年 8 月 17 日（木）参加者 17 名 団体向け（言語聴覚士協会）（予定） 令和 6 年 3 月 16 日（土）13 時 30 分～15 時 30 分（予定）</p>				

評価基準（内容）		指定管理者の自己評価	評価 S～C	施設管理者の評価	評価 S～C	評価委員会の指摘・提言
		<p>対象：大阪府言語聴覚士会会員およびおよび言語聴覚士を目指す学生</p> <p>開催方法：対面</p> <p>VI. 自主事業の実施について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・手話通訳派遣事業（自主事業）収入見込み 50,000,000 円 ・司法通訳派遣事業 収入見込み 5,000,000 円 ・訪問型職場適応援助者（ジョブコーチ）事業収入見込み 6,600,000 円 ・企業通訳委嘱事業 収入見込み 10,000,000 円 ・就労窓口手話通訳派遣事業 収入見込み 9,500,000 円 ・聴覚障害者ワークライフ支援事業 収入見込み 6,914,000 円 ・手話講演事業 収入見込み 2,000,000 円 ・手話講習会事業 収入見込み 20,000,000 円 ・障害者生活支援事業 収入見込み 5,200,000 円 ・書籍普及事業 収入見込み 10,000,000 円 ・講師養成事業 収入見込み 1,100,000 円 ・手話通訳士受験事前学習事業 収入見込み 1,300,000 円 		<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルスの5類移行に伴い、収入見込みは昨年度から回復傾向にあることが確認できる。 <p>以上のことから、概ね施設の設置目的及び、管理運営方針に沿って運営されていると判断される。</p>		

評価基準（内容）	指定管理者の自己評価	評価 S～C	施設管理者の評価	評価 S～C	評価委員会の指摘・提言
<p>（２）</p> <p>指定管理者として、管理運営業務のほか権限行使や専門性・連携体制が確保された組織体制運営等を適正に行っているか。</p>	<p>◆管理運営業務について</p> <p>①利用時間・休館日</p> <ul style="list-style-type: none"> ・利用時間：次のとおり 平日の午前９時から午後９時まで 土曜日の午前９時から午後５時まで ・休館日：毎週日曜日及び国民の祝日に関する法律に規定する休日、年末年始（12月29日から翌年1月3日まで）。 <p>④ 利用料金の徴収については「大阪府社会施設設置条例」第15条別表第四に基づいて適正に徴収等している。</p> <p>⑤ 利用料金の減免についても、「大阪府立福祉情報コミュニケーションセンター管理規則」第11条に基づいて適正に減額または免除している。</p> <p>⑥ 会議室の利用を含むセンター事業のPRについては、親しみやすくわかりやすい内容でホームページを作成している。</p> <p>（参考URL）http://osakacommunication.com/</p> <p>⑤ホームページの他、センター内においても、来館者に向けてデジタルサイネージ等を利用して事業の広報に努めている。</p> <p>⑥施設の維持管理については、日常点検に加え委託する専門業者と連携しながら予防保全に努めている。</p> <p>◆管理体制については各指定管理者の「事業管理体制計画書」参照</p>		<p>（２）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・利用時間・休館日について、府の募集要項より左記の時間を提供している。（①） ・利用料金の徴収・減免についても、関係条例及び管理規則に則って適正に履行している。（②、③） ・ホームページによる事業PRや、センター内でのデジタルサイネージ等の活用など、利用者本位の提供に努めている。（④、⑤） ・施設の維持管理についても、専門業者との連携により安全安心に努めている。（⑥） <p>以上のことから、指定管理者として管理運営業務のほか権限行使や組織体制運営等を概ね適正に行っていると判断される。</p>		
<p>（３）</p> <p>関係法令を遵守しているか。</p>	<p>◆法令遵守</p> <ul style="list-style-type: none"> ・障害者基本法をはじめ身体障害者福祉法、障害者総合支援法など障がい者福祉に資する法令 ・障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律 ・労働関係法令 ・大阪府社会福祉施設設置条例 <p>その他関係法令について遵守している。</p>		<p>（３）</p> <p>障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律をはじめ、関係法令の違反は確認されておらず、遵守していると判断される。</p>		

評価基準（内容）		指定管理者の自己評価	評価 S～C	施設管理者の評価	評価 S～C	評価委員会の指摘・提言
	<p>（４）</p> <p>自主事業や専門機関等との連携（再委託）において、自主性を存分に発揮できる体制の確保だけでなく、センターとしての統一性の確保にも配慮しているか。</p>	<p>◆自主性を存分に発揮できる体制の確保について</p> <ul style="list-style-type: none">・盲ろう者等社会参加支援センター他各センター及び連携団体（再委託先）における指定管理業務等の遂行については、各団体の自主性を発揮し、着実に実行している。 <p>◆統一性の確保について</p> <ul style="list-style-type: none">・母子・父子福祉センターも含めた、センター入居団体で組織する「施設運営委員会」を組織し、センター全体に係る様々な課題について調整している。・防火管理に係る消防計画や危機管理対応マニュアルについて、センターで統一的に整備しており、災害や火災避難訓練も統一的に実施している。 <p>◆その他マニュアルの統一については４（４）参照。</p> <p>上記のとおり、各連携団体と円滑に連携し、着実に事業を実施することにより、施設の設置目的を十二分に発揮するとともに、効果的な管理運営に努めている。</p>		<p>（４）</p> <p>◆それぞれ、利用者が一部重複することはあるものの、障がいの種別によって求められる内容が異なり、また移転前からの継続利用者が多いため、各団体とも自主性を発揮しながら実施が出来ている。</p> <p>◆母子・父子福祉センターは府立施設としては別であるが、同一建物内にあるため、防災体制など統一される必要があるため、統一のための体制整備に努めている。</p> <p>以上のことから、自主性を発揮できる体制は既に確保されており、統一性についても確保のための体制整備に努めているため、いずれについても、今後、より充実していくと判断される。</p>		
2 平等な利用を図るための具体的手法・効果	<p>（１）</p> <p>障がい者の利用に際し、合理的配慮を適切に行うなど、公平なサービス提供、対応を行っているか。</p>	<p>◆障がい者の利用等に際しての合理的配慮について</p> <ul style="list-style-type: none">・施設内各所における点字タイル整備、点字表記等・施設内各所における緊急情報表示設備 <p>その他障がい者施設に必要な設備を整備済みであり、また、手話通訳者など意思疎通支援者を配置することで、公平なサービス提供、対応に努めている。</p> <p>◆会議室の利用については、「大阪府立福祉情報コミュニケーションセンター会議室利用規約」に則して受付け事務や利用料金の減免措置等により、障がい者が利用しやすい環境を整備している。</p> <p>上記事項を確実に実施することにより、公平なサービスの提供、対応ができ、利用者の平等な利用が図られた。</p>	A	<p>（１）</p> <ul style="list-style-type: none">・利用者の安全面に十分留意し、点字タイルや点字表記、緊急情報表示設備だけでなく、センター従事者による手話等のコミュニケーション手段を活用したサポートにより、利用者一人ひとりの障がい特性、心身の状況やニーズに応じた合理的配慮と必要な支援を行っている。・令和５年度より、指定管理者・施設管理者双方連携のうえ、盲導鈴に代わって視覚障がい者の施設へのアクセスを向上させるツールとして、視覚障がい者向けアプリの活用を進めている。・会議室等施設の利用については、障がい者以外の方々も含めて、公平に利用機会の提供ができるようホームページに、その利用方法や手続等を掲載している。 <p>以上のことから、障がい者以外の方々も含めた利用者の利便性を考慮し、合理的配慮や利用しやすい環境の整備等に努めることで、概ね公平なサービス提供を行っている判断される。</p>	A	

評価基準（内容）		指定管理者の自己評価	評価 S～C	施設管理者の評価	評価 S～C	評価委員会の指摘・提言
3 利用者に対するサービスの向上を図るための具体的手法・効果	（１） 利用者の声や利用状況を管理運営等に反映させる仕組みが整備され、機能しているか。	<p>◆利用者からの要望や苦情への対応については、「大阪府立福祉情報コミュニケーションセンター等苦情解決規程」など解決システムを整備している。</p> <p>また、各階エレベーターホールに「ご意見箱」を設置し、意見を収集するとともに、アンケート調査を実施するなど、利用者に満足いただけるサービス提供と障がい特性に応じた支援に役立てている。</p> <p>◆ご利用者アンケートについては９月に１回目を実施し、その結果を１０月にホームページに掲載した。３月に２回目の実施を予定している。</p> <p>また、ご意見箱を定期的に回収し、エントランスの掲示版に回答を掲載し、定期的に回答をホームページに掲載している。</p>	A	<p>（１）</p> <ul style="list-style-type: none"> 苦情解決体制が整備されていることは確認できた。 「ご意見箱」に寄せられた意見及び過去に実施したアンケートの結果については、ホームページに掲載済み。 <p>（参考URL）http://osakacommunication.com/</p> <p>以上のことから、利用者の声や利用状況を管理運営等に反映させる仕組みについて機能していると判断される。</p>	A	
	（２） センターの会議室の利用承認等について、利用者の利便性の向上に配慮しているか。	<p>◆会議室の利用承認については、仮予約、本予約ともに、電話、ファクシミリ、eメール等での受付を可能としている。</p> <p>また、会議室利用料金の納付については、銀行振込みとするなど利用者の利便性の向上を図っている。</p> <p>◆利用者の利便性向上のため、１階エントランスに設置しているデジタルサイネージを活用し、毎日の会議室利用状況「本日の催し」を掲示している。</p> <p>◆貸会議室利用のための手続きや利用料金等については、ホームページに掲載して周知している</p>		<p>（２）</p> <ul style="list-style-type: none"> 会議室利用手続きについては、電話、ファクシミリ、eメール等による申し込みを可能としており、「申し込みのための来館」や「押印」が不要となるため、利用者の利便性の向上に十分配慮している。 デジタルサイネージによる、イベント等の掲示は来館された方にとって、非常にわかりやすい。 会議室利用手続き等のホームページ掲載は、聴覚障がい者だけでなく、夜間や休日にしか閲覧できない利用者の利便性も向上している。 <p>以上のことから、センターの会議室の利用承認等について、利用者の利便性の向上に配慮していると判断される。</p>		<ul style="list-style-type: none"> 引き続き業務のDX化に取り組んでもらいたい。
	（３） ITスキルを軸とした就労等支援について、OSやソフトウェア等のバージョンアップはもとより、企業との連携確保等にも配慮しているか。	<p>◆就労支援の講習等の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> IT講習受講者数：82人（内訳） <ul style="list-style-type: none"> スタート講習：23人 基本講習：28人 実践講習：31人 パソコン検定対策講習：6人 在宅就労支援訓練受講者数：5人 eラーニング講座（新規開設）：17講座 <ul style="list-style-type: none"> 表計算ソフト（Excel2019）基本操作③④⑤：3講座※ 視覚障がい者用eラーニング講座 <ul style="list-style-type: none"> 「MyNews 基本操作①～⑦」（弱視者用：動画版）7講座 「MyNews 基本操作①～⑦」（全盲者用：音声版）7講座※ <p>※令和5年3月開設</p>		<p>（３）</p> <ul style="list-style-type: none"> OSやソフトウェア等については、就職後もスムーズに対応できるバージョンを用意し、講習を行っている。 就労支援においては、民間企業だけでなく福祉サービス事業所、市町村関係機関などとも連携に努めている。 <p>以上のことから、ITスキルを軸とした就労等支援について、OSやソフトウェア等のバージョン、企業との連携確保等にも配慮していると判断される。</p>		

評価基準（内容）		指定管理者の自己評価	評価 S～C	施設管理者の評価	評価 S～C	評価委員会の指摘・提言
		<p>(MyNews：音声読上げソフト(PC-Talker)に連携して Web ページのニュースを読み上げるソフト)</p> <p>現在、以下の e ラーニング講座制作中</p> <p>表計算ソフト(Excel2019)基本操作⑥⑦⑧⑨：4 講座</p> <p>◆企業との連携確保等への配慮</p> <p>利用者(障がい者)の障がい特性等に応じて効果的なサービス向上等を図るため、民間企業だけでなく、福祉サービス事業所、市町村関係機関等と幅広く連携を実施。</p> <p>・連携件数：133 件</p> <p>(内訳) 民間企業:46 件</p> <p>福祉サービス事業所等:39 件</p> <p>公共施設・行政機関等:34 件</p> <p>その他(福祉関係機関等):14 件</p> <p>以上、上記事業を着実に実施し、利用者に対するサービスの向上を図っている。</p>				
4 利用者への安全配慮、施設の維持管理の内容、適格性及び実現の程度	(1) 施設の維持管理を迅速かつ効率的に行っているか。	<p>◆館内の設備については常に点検をし、不具合等があれば迅速に対応策を講じ、必要に応じて大阪府へ連絡を行う体制としている。</p> <p>◆設備機器の点検保守については、専門的な知識と技術を要することから、第三者である専門業者に業務委託を行うことで、安全に維持することとしている。</p> <p>また、日常的に点検を行い、不具合や異常を確認した際には、応急処置並びに専門業者への連絡など迅速な対応を行っている。</p> <p>※業務委託設備</p> <p>昇降機保守、消防設備保守、自動扉保守、空調機器保守、吸収式冷温水機保守、ガスヒートポンプエアコン保守、受変電設備保守、構内電話設備保守、空調設備点検、非常用発電装置保守、加圧給水ポンプ点検 等</p> <p>◆警備保安業務については、夜間や休館日の機械警備による防犯対策、火災監視を実施するとともに、毎日の定期巡回を実施している。</p> <p>◆防火管理については、法令に基づき防火管理者を選任し、定期的な消防設備点検を行うとともに、利用者、職員を対象とした防火避難訓練を実施している。</p> <p>◆植栽等の管理については、景観、衛生面から適切な時期に職員による刈り込み等を実施している。</p>	A	<p>(1)</p> <p>・館内の設備については不具合等があれば迅速な応急措置を講じたうえで府に連絡があるため、日常的に点検をしていると確認できる。</p> <p>・設備機器の点検保守等については、専門業者に業務委託を行う等、良好な状態の維持に努めている。</p> <p>以上のことから、概ね施設の維持管理については、迅速かつ効率的に行っていると判断される。</p>	A	

評価基準（内容）		指定管理者の自己評価	評価 S～C	施設管理者の評価	評価 S～C	評価委員会の指摘・提言
		◆清掃業務については、外部に委託し、障がい者の就労促進に寄与するとともに、施設の利用状況を踏まえた効率的な清掃により環境美化に努めている。				
	（２） 感染症対策など利用者の安全対策は万全か。	<p>◆以下のような安全対策（会議室利用者等への要請）を行っている。</p> <p>①居室等の定期的な換気</p> <p>②居室内における利用者相互の距離について、１～２ｍ程度の間隔を確保</p> <p>③咳エチケット・手洗い等感染予防策の周知・徹底</p> <p>④利用前後の机、いす等の消毒徹底</p> <p>⑤アルコール消毒液の設置</p> <p>⑥発熱等症状のある方への利用・来館の制限要請</p> <p>⑦その他</p> <p>・コロナ追跡システム、安全宣言ステッカーなど府の取り組みへの協力</p>		<p>（２）</p> <p>コロナ禍において実施されていた、インターネットを活用した動画配信、透明なアクリルパーティション等の活用、点字表示のこまめな消毒等、センターを利用する障がい者の安心と安全を担保するための取組みについて、現在も必要に応じて実施できている。</p> <p>以上のことから、万全な安全対策を講じていると判断される。</p>		
	（３） 緊急時の危機管理体制を整備しているか。	<p>◆「大阪府立福祉情報コミュニケーションセンター等危機管理対応マニュアル」「大阪府立福祉情報コミュニケーションセンター等の防火管理に係る消防計画」等を整備し、定期的に訓練（災害避難訓練１回／年、火災避難訓練２回／年）を行うことで、全職員が災害等の緊急時に即応できるようにしている。</p> <p>◆利用者のケガや発作等、救急搬送等を要する場合の「大阪府立福祉情報コミュニケーションセンター等危機管理対応マニュアル」に基づき、迅速な対応ができる体制を整備している。</p>		<p>（３）</p> <p>全職員が災害等の緊急時に即応できるように「大阪府立福祉情報コミュニケーションセンター等危機管理対応マニュアル」「大阪府立福祉情報コミュニケーションセンター等の防火管理に係る消防計画」に基づき、迅速な対応ができる体制整備に努めている。</p> <p>以上のことから、緊急時の危機管理体制が整備できていると判断される。</p>		
	（４） 危機管理や個人情報保護等の対応について、運営事業体共通の体制やマニュアルの整備がなされているか。	<p>◆同一建物である母子・父子福祉センターも含めて、福祉情報コミュニケーションセンター共通のマニュアル整備に努めており、危機管理や個人情報も含めて、次のとおり整備している。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・管理規約 ・施設運営委員会設置要綱 ・会議室利用規約 ・危機管理対応マニュアル ・消防計画 		<p>（４）</p> <p>危機管理や個人情報保護等の対応について、運営事業体共通の体制やマニュアルの整備がなされている。</p>		

評価基準（内容）		指定管理者の自己評価	評価 S～C	施設管理者の評価	評価 S～C	評価委員会の指摘・提言
		<div>・ 個人情報保護規程</div> <div>・ 苦情解決規程</div> <div>・ 無線LAN設備利用規程</div> <div>・ 展示等利用規程</div> <div>上記の取り組みを通じ、利用者への安全配慮、施設の維持管理に万全を期した。</div>				
5 府施策との整合	（１） 府施策の方向性を理解したものになっているか。	<div>・ 感染症対策における「コロナ追跡システム」、「安全宣言ステッカー」などの取り組みへ参加している。</div> <div>・ 環境問題への取り組みにおける「大阪府グリーン調達方針」に沿った物品調達を実施している。</div> <div>・ 大阪府障がい者計画の基本理念である「人が人間（ひと）として支えあいともに生きる自立支援社会づくり」を目指して、各指定管理団体等において「社会的障壁の除去・改善」に向けて事業を推進し、計画目標の達成に努めている。</div>	A	（１） ・ 様々な分野において府施策の方向性を理解した運営を行っていると判断できる。	A	
	（２） 知的障がい者による清掃作業を実施しているか。	<div>・ 日常清掃業務を外部委託により実施している。 （委託先）社会福祉法人大阪手をつなぐ育成会 知的障がい者１名（定着訓練中１名）、指導者１名</div>		（２） 知的障がい者による清掃作業を実施している。		
	（３） 知的障がい者の現場就業について、提案どおりの雇用ができていますか。	<div>・ 委託先である社会福祉法人大阪手をつなぐ育成会を通じて「障害者等の職場環境整備等支援組織」と連携のうえ、提案どおりの雇用ができています。</div>		（３） 直接雇用ではないが、委託先事業者を通じて「障害者等の職場環境整備等支援組織」と連携し、提案どおりの雇用ができていますと判断できる。		
	（４） 「大阪府障害者等の雇用の促進等と就労の支援に関する条例」第 11 条の 2 に規定する「障害者等の職場環境整備等支援組織」と連携して、当該雇用した知的障がい者の職場定着を図っているか。	<div>・ 委託先である社会福祉法人大阪手をつなぐ育成会を通じて「障害者等の職場環境整備等支援組織」と連携のうえ、清掃員の職場定着を図っている。</div>		（４） 職場定着についても、「障害者等の職場環境整備等支援組織」と連携し、適切に実施していると判断できる。		

評価基準（内容）		指定管理者の自己評価	評価 S～C	施設管理者の評価	評価 S～C	評価委員会の指摘・提言
	（５） 環境問題に積極的に取り組んでいるか。	施設管理だけでなく、各団体の事業活動においても省エネルギーや省資源等に可能な限り取り組むとともに、環境関連法令を遵守し、環境負荷の低減および環境に配慮した管理に努めるため、次の取組みを行っている。 ・冷暖房時の適正な室温管理 ・照明の不要な場所の「こまめな」消灯 ・その他節電や、水、化石燃料の使用量の低減 ・「大阪府グリーン調達方針」に沿った物品調達 ・プリンターの裏紙活用 ・廃棄物の分別や３Ｒの取組み 上記取組みを実施し、府が実施する事業等に積極的に協力することにより、府施策との整合性を図った。		（５） 節電・省エネ等の取り組みにより、概ね環境問題に積極的に取り組んでいると判断される。		
6 安定的な運営が可能となる人的能力	（１） 職員体制は十分か。	◆入居している各団体において、事業計画に基づき、利用者の安全、安心、サービス向上の観点から、必要な資格、経験を有する職員を配置している。	A	（１） 職員体制は十分であると判断される。	A	
	（２） 職員の採用、確保の方策は適切か。	◆職員の採用、確保 【社会福祉法人大阪障害者自立支援協会】 ・非正規職員については、ハローワーク等に求人を出し、随時面接、履歴書等の書類審査を経て採用している。 【公益社団法人大阪聴力障害者協会】 ・ハローワーク、ホームページ等に求人を出し、履歴書等の書類審査後に職場見学を行い、面接を経て採用している。 【一般財団法人大阪府視覚障害者福祉協会】 ・社会福祉法人大阪府社会福祉協議会の「福祉のお仕事」、ハローワーク等に求人を出し、履歴書等の書類審査、面接を経て採用している。		（２） 各団体とも、就業機会の提供等、公正な採用に努めており、職員の採用、確保の方策は適切であると判断される。		
	（３） 職員の指導育成や研修体制は十分か。	◆職員の指導育成 【社会福祉法人大阪障害者自立支援協会】 ・法人理念、職員倫理綱領等の主旨を徹底し、管理監督者の率先垂範による職員の意識改革と定期的な面談による育成を行っている。 【一般財団法人大阪府視覚障害者福祉協会】 ・法人の目的、指定管理の趣旨を徹底するため、管理監督者が率先垂範するとともに、月例の職員会議等の機会をとらえ、職員の意識改革、指導育成を行っている。 また、必要に応じて職員への面談を行い、個々の業務への取組み状況や課題の有無等を確認している。		（３） 各団体とも、指導育成や研修体制の充実に努めており、概ね安定的な運営が可能となる人的能力は確保できていると判断される。		

評価基準（内容）		指定管理者の自己評価	評価 S～C	施設管理者の評価	評価 S～C	評価委員会の指摘・提言
		<p>【公益社団法人大阪聴力障害者協会】</p> <ul style="list-style-type: none">・法人理念、行動指針を掲示し周知徹底をはかっている。毎月第三木曜日に全職員参加を基本とする定例会議を行っているほか、必要に応じて管理監督者と面談できる体制をとっている。 <p>◆研修体制</p> <p>【社会福祉法人大阪障害者自立支援協会】</p> <ul style="list-style-type: none">・法人本部において、法人職員に対し提案書通りの研修を実施している。 <p>【一般財団法人大阪視覚障害者福祉協会】</p> <ul style="list-style-type: none">・O J Tを基本に、業務遂行上の専門的技能と知識の修得の必要に応じ外部の研修機関の実施する研修に職員を派遣している。 <p>【公益社団法人大阪聴力障害者協会】</p> <ul style="list-style-type: none">・職員採用時に新入職員研修を行い、支所や関連施設の見学も行っている。・令和5年7月27日（木）に事業評価を行った。・令和5年10月26日（木）に秋期研修を行った。 「障害者・高齢者虐待の現状と防止」 講師：水流添 真氏（一般社団法人こもれび） 「インボイス制度と公益法人制度改革」 講師：山本匡人氏（大阪中央会計事務所）				
7 安定的な運営が可能となる財政的基盤	（１） 法人の経営状況	<p>◆社会福祉法人大阪障害者自立支援協会</p> <ul style="list-style-type: none">・社会福祉法人として、収支のバランスのとれた安定経営を行っており、財務状況は適正である。・当センター以外にも府立施設の指定管理を受託しており、第1種社会福祉事業、第2種社会福祉事業として複数の施設運営を行うなど、長期的、安定的に持続可能な経営を行っている。・センターにおいても、指定管理料以外に自主事業収入の確保に努めている。 令和4年度事業報告書・決算報告書参照 <p>◆一般財団法人大阪府視覚障害者福祉協会</p> <ul style="list-style-type: none">・一般財団法人として、公益目的の達成を図りながら、収支のバランスのとれた安定経営に努めている。・センターにおいて、指定管理料以外に自主事業収入の確保を図り、長期的、安定的かつ持続可能な経営に努めている。 令和4年度事業報告書・決算報告書参照 <p>◆公益社団法人大阪聴力障害者協会</p> <ul style="list-style-type: none">・公益社団法人として、適宜府へ報告を行い、毎月実施する運営委員会・理事会にて経営状況を報告している。収支の	A	<p>（１）</p> <p>会計を専門とする委員の意見を参考に、所管課にて評価を行う。</p> <p>法人の財政状況等については別添資料参照</p>	A	

評価基準（内容）		指定管理者の自己評価	評価 S～C	施設管理者の評価	評価 S～C	評価委員会の指摘・提言
		バランスのとれた安定経営を行っており、財政状況は適正である。 ・センター以外にも自治体から受託している業務をもち、複数箇所で事業を行い、長期的・安定的に持続可能な経営を行っている。 ・センターにおいても指定管理業務以外に自主事業の確保に努めている。 令和4年度事業報告書・決算報告書参照				

年度評価： A